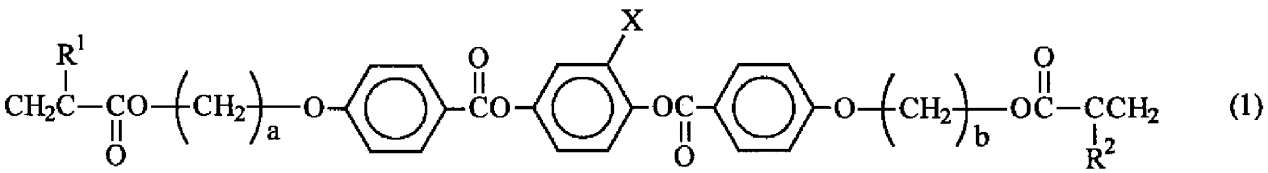
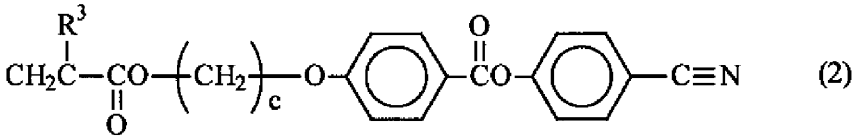
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2000-345160(P2000-345160A)
【公開日】平成12年12月12日(2000.12.12)
【出願番号】特願平11-158298
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｋ　19/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｋ　19/20

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月7日(2006.7.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】下記の一般式（１）で表される化合物(Ｉ)と、下記の一般式（２）で表される化合物(ＩＩ)と、光学活性な部位を有する低分子化合物とで構成され、化合物(Ｉ)：化合物(ＩＩ)の重量比が９９：１～５０：５０の範囲にあり、前記の低分子化合物の含有量が化合物(Ｉ)と化合物(ＩＩ)の合計量１００重量部当り、０．０１～６０重量部の範囲にある液晶性組成物。
【化１】



(1)

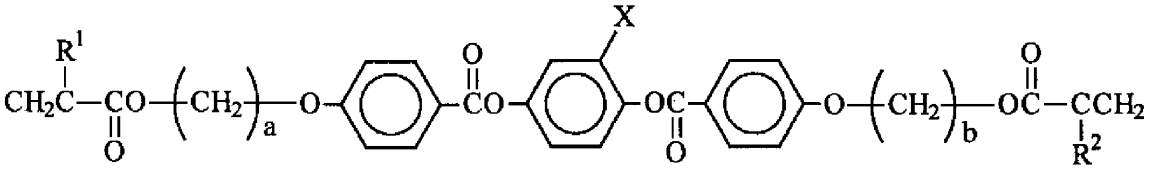


(2)

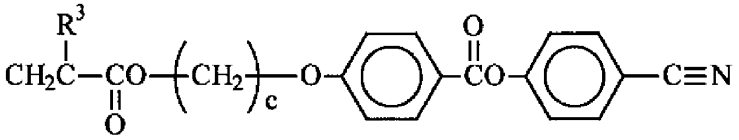
（一般式（１）及び（２）において、R^1，R^2及びR^3はそれぞれ独立に水素又はメチル基を示し、Ｘは水素、塩素、臭素、ヨウ素、炭素数１～４のアルキル基、メトキシ基、シアノ基及びニトロ基からなる群から選ばれる一つを示し、ａ，ｂ，ｃはそれぞれ２～１２の整数を示す。）
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
【課題を解決するための手段】
すなわち、本発明に係る液晶性組成物は、下記の一般式（１）で表される化合物(Ｉ)と、下記の一般式（２）で表される化合物(ＩＩ)と、光学活性な部位を有する低分子化合物とで構成され、化合物(Ｉ)：化合物(ＩＩ)の重量比が９９：１～５０：５０の範囲にあり

、前記の低分子化合物の含有量が化合物(Ｉ)と化合物(ＩＩ)の合計量１００重量部当り、０．１～６０重量部の範囲にある。

【化５】



(1)



(2)

（一般式（１）及び（２）において、R^1，R^2及びR^3はそれぞれ独立に水素又はメチル基を示し、Ｘは水素、塩素、臭素、ヨウ素、炭素数１～４のアルキル基、メトキシ基、シアノ基及びニトロ基からなる群から選ばれる一つを示し、ａ，ｂ，ｃはそれぞれ２～１２の整数を示す。）